

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)UBE三菱セメント(株) 廃プラ関西収集基地建設工事	階数	地上2F
建設地	大阪府泉大津市臨海町	構造	S造
用途地域	工業専用	平均居住人員	未定 人
地域区分	6地域	年間使用時間	未定 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2024年12月23日
敷地面積	10,750 m ²	作成者	五洋建設株式会社 大阪支店一級建築士事務所 板東 真央
建築面積	3,962 m ²	確認日	2024年12月23日
延床面積	4,201 m ²	確認者	五洋建設株式会社 大阪支店一級建築士事務所 板東 真央



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	標準計算 ■建設 ■修繕・更新・解体 ■運用 ■オンサイト ■オフサイト ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²) #VALUE! #VALUE! #VALUE! #VALUE!	

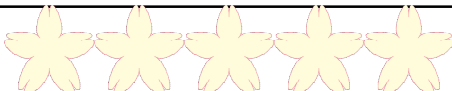
2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9 機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.2 生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0 建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率の	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.0 水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2 地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合 耐用年数の長い建材の採用や更新・修繕に配慮した計画とするなど建物維持管理等を効率的に実施できる計画としている	その他	
Q1 室内環境 更新・修繕に配慮した計画とするなど建物維持管理等を効率的に実施できる計画	Q2 サービス性能 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲に植栽を設けるなど周辺の風景に配慮した計画とした
LR1 エネルギー 省エネ計算無し	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の積極的な採用など省資源を図っている。	LR3 敷地外環境 車の乗り入れが多くなる建物のため、交通負荷抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)UBE三菱セメント(株) 廃プラ関西収集基地建設工事					
建設地		大阪府泉大津市臨海町					
用途／区分		工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					評価対象外	
		評価対象外				評価対象外	
④	エネルギー消費性能					評価対象外	
		評価対象外				評価対象外	
		評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮		—
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化		—
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用		—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		